

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

つながる会
発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正恵

定期総会の開催

平成26年6月1日（日曜）に終了しています。日）、松ヶ丘集会所で、平成26年度定期総会が開催されました。

平成25年度の事業報告と収支決算報告・会計監査報告が行われました。引き続き平成26年度の事業計画（案）と収支予算（案）が発表され、全員での審議の結果、原案通り可決し無事発表されました。



力とご支援をよろしくお願い致します。

会長挨拶

「楠小学校区つながる会」は、昨年11月に設立総会を開催し、活動を開始いたしました。設立に際しましては、皆さまのご支援・ご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。お陰様をもちまして、発足から約7ヶ月経過し、会の運営もなんとか軌道に乗りました。今日を迎えることができました。

この「つながる会」は、地域課題の解決を図るべく、設立されたもので、当面は、地域の防災、安全・安心の確保をひとつの目的に掲げ、活動を開始いたしました。



自然災害の発生

近年においては、自然災害が全国各地で発生しています。

先の東日本大震災では、2万人を超える方が津波などにより犠牲となられました。河内長野では、南海トラフ大地震、また内陸の直

下型地震の発生が懸念され、これらの災害に備えていく必要があります。このほか、最近では、集中豪雨、ゲリラ豪雨が各地で発生し、犠牲者も出ておりますし、これから秋にかけては、台風による被害発生も懸念され、大雨による浸水や土砂災害に備えなければなりません。

そこで、「つながる会」の1年目の活動では、平成23年に台風12号により豪雨災害が発生した五條市大塔町を視察し、地域の皆さんの災害時の活動やその後の復興状況などを視察いたしました。

また、そのような活動状況を校区の皆さんにアピールするため、広報誌を発行しております。

2年目以降は、地域に根ざした防災活動、特に横の連携を強め、楠校区全体の防災力を高める活動を進めてまいりたいと思っております。

この他、高齢者の増加や子どもの減少など、様々な地域の課題がございます。これらの課題解決は、地域の皆さんの総合力が必要であります。

このためには、活動していただく人材の確保が必要で、活動を担う「ひとつづくり」も進めてまいりたいと思っております。



情報の共有

高齢者から子育て中の皆さん、また学生さんなど幅広く集まっていたいただき、まちの課題の解決策を考えていく組織作りが大切だと思います。まちづくりに興味のある皆さんの参加をお待ちしております。「つながる会」活動の幅を急激に広げることができませんが、地域の皆さんにご協力をいただきながら、地域課題をひとつずつ解決してまいりたいと思っております。

皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

楠小学校区つながる会
会長 玉崎 和実

今年事業計画

研修部会

防災先視察
地域の自主防災意識を高めるため、会員や自主防災組織を対象として、被災経験のある地域や防災啓発施設等への「防災先視察」を実施する。



研修会の実施

防災出前講座
各自治会の自主防災組織づくりを支援し、活動の活性化を促進するきっかけとなるよう、「防災出前講座」を開催する。

このためには、活動していただく人材の確保が必要で、活動を担う「ひとつづくり」も進めてまいりたいと思っております。



避難場所 避難順路の確認

避難指定場所
避難指定場所（楠小学校、千代田公民館・大阪暁光高校）管理者・市との懇談会を実施し、その概要を勉強する。

広報部会

楠まちづくり新聞
自治会等の活動を支援し、様々な地域課題や情報を共有し、その解決に向けて連携を促すため、「楠まちづくり新聞」を適宜発行（継続）する。自主防災活動に取り組み自治会の紹介（連載）



避難情報の入手

人材バンク
人材バンクの設置を各防災会に勧める
災害時において地域で活躍が期待できる専門的技術を持った人を事前登録しておく。

医師、看護師、介護福祉士、保健師、救急救命士、等々建築・土木関係（業者・個人）

総務部会

安否確認マニュアル
福祉委員会等と連携し、一人暮らしの高齢者等の「安否確認マニュアル」を作成し、自主防災組織に提供する。



避難場所の確認

その他

市防災訓練
市防災訓練の見学
平成26年11月2日（日）赤峰市民グラウンド

情報交換・見学
各自主防災会（組織）の訓練の情報交換・見学

事務局からのお知らせ

前号で募集しました「広報紙」の愛称はイメージにマッチしなかったため「広報紙」としての特徴が落ち着くの見守りながら、引き続き募集しています

防災特集

大地震や大規模災害から命を守るための「自主防災組織」が立ち上がっています。

地域自主防災組織の先輩団体や、市役所からの支援を受けながら、自治会等で協力し合って防災活動、防災訓練に取り組んでいる事例をご紹介します。

松ヶ丘連合町会活動報告

松ヶ丘連合町会では、阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓から、地域における防災活動の重要性、自主防災組織の必要性を強く認識し、平成24年度の松ヶ丘連合町会総会で、自主防災会の結成について承認をいただき、自主防災会班員の選任等、自主防災会発足の準備を進めてまいりました。

結成式



結成式の様子

平成25年8月4日に、会長以下役員7名、班員60名（内班長6名）の総員67名で、松ヶ丘連合町会自主防災会が発足いたしました。

会の目的は、松ヶ丘地域住民の隣保協同の精神に基づき、自主防災活動を行うことにより、地震その他の災害による被害を防止し、また軽減を図ることにあります。



自主防災会の発足

自主防災会結成式では、河内長野市危機管理担当市長補佐官（当時）の田和裕様を来賓にお迎えし、当初に役員及び班員を紹介した後、全員に委嘱状をお渡しし、自主防災会班員であることを認識していただきました。



来賓挨拶

その後、「防災力は、市民が主役」と題して、河内長野市危機管理室の北浦慶久氏による防災講演を受講し、皆さんは自主防災会班員としての決意と自覚を新たにされました。

初めての防災訓練

平成25年9月7日（土）には、自主防災会結成後初めての「防災訓練」を実施しました。この訓練は、松ヶ丘婦人防火クラブと合同で実施したもので、総数77名と、多くの方の参加がありました。



初めての防災訓練



消火バケツリレーの様子

訓練内容は、①水消火器による消火訓練②応急担架による搬送訓練 ③応急手当訓練 ④給食炊き出し訓練を4つの班に分けてそれぞれ実施した後、全員で⑤消火バケツのリレーによる消火訓練を行いました。

最後に参加者全員に、婦人防火クラブ員から「炊き出しご飯」が配られ、五目ご飯を試食しました。

残暑厳しい中での、初めての防災訓練でしたが、参加されたみなさんは、終始キビキビと行動され、それぞれが防災への対応力を高められました。



応急担架による搬送訓練

総合防災訓練
今年の予定

日程：11月2日（日）
時間：9時から
場所：赤峰市民広場

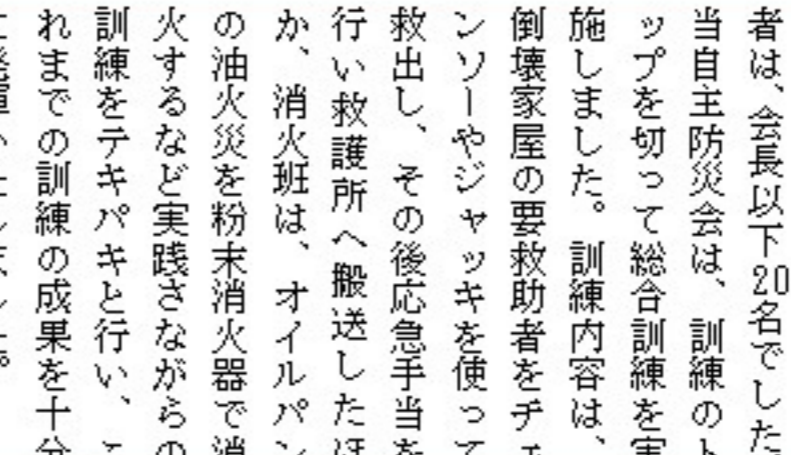


昨年（平成25年）の赤峰市民広場における松ヶ丘連合町会

総合防災訓練参加

平成25年11月2日には、河内長野市総合防災訓練に初めて参加しました。参加者は、会長以下20名でした。

自主防災会は、訓練のトップを切って総合訓練を実施しました。訓練内容は、倒壊家屋の要救助者をチェンソーやジャッキを使って救出し、その後応急手当を行い救護所へ搬送したほか、消火班は、オイルパンの油火災を粉末消火器で消火するなど実践ながらの訓練をテキパキと行い、これまでの訓練の成果を十分に発揮いたしました。



煙体験訓練



①防災に関するビデオの上映 ②火災予防に関する講話を聞いたあと、駐車場へ移動し③煙体験ハウスを使用し④煙体験訓練 ⑤水消火器を使っての消火訓練を実施し、防火や防災に関する知識、技術を高めました。



消火訓練の様子

このように、自主防災会班員は、訓練等により災害対応力を高めてきています。地域の防災は、自主防災会だけで対応出来るものではありません。消防団や婦人防火クラブ、青年団やその他の地域団体と連携し、地域が一体となって防災に取り組むことが大切です。

防火教室

平成26年3月9日（日）には、松ヶ丘婦人防火クラブと共催で、「防火教室」を開催し、約60名が参加しました。当日は、集会所で

普段から、秋祭りや各種行事・活動を通じて、地域コミュニティを醸成し、地域の「きずな」を強めていくことが、いざというときの防災活動に生きてくるものです。

松ヶ丘自主防災会は、地域における連携を深め、安心のまちづくりをこれからも取り組んでまいります。

編集後記

「まちづくり新聞」の第二号をお届けします。引き続き、取材の依頼や記事の投稿をお待ちしています。メール kusunoki.info@gmail.com

ホームページ <http://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会

地域内 防災訓練 予定

松ヶ丘	9月13日（土）
南貴望ヶ丘	11月15日（土）
桐ヶ丘	11月30日（日）